

☆知多社会科同好会 自主研修会通信☆

平成27年9月16日 第73回

今回は、奥村先生をお招きして、「話し合い」について考えます！ぜひ、ご参加を！！

今回は、佐護先生（草木小）、井口先生（半田中）、浅野先生（半田中）、東先生（河和南部小）、青木孝輔先生（新知小）、宮下（加木屋小）の6名で行いました。浅野先生は、初めて参加してくださいました！

【提案】

宮下より「第63回教育研究論文（主催：知多地方教育事務協議会）」に応募した論文についての実践を報告させていただきました。研究では、以下の4点を手立てとし、「社会を自分に近づけ、広い視野をもって意思決定できる児童の育成」を目指しました。



東海市の「オニオンマン」

- ① 社会を児童に近づけるために地域教材（東海市の玉ねぎ）を活用する。
- ② 視野を広げるためにゲストティーチャーを活用する。
- ③ より多くの視点から学習問題を見つめるための討論を設定する。
- ④ 自分の生活や行動に即した意思決定場面を設定する。

さまざまな視点からご意見をいただく中で、手立て③の「討論」に関わり、「よい討論の授業とは？」を皆で話し合いました。「意見がかみ合わない」「最後のまとめが難しい（そもそもまとめる必要はあるのか？）」「落としどころを決めるのが難しい…」「教師の出が大切で、話の流れを誘導することも必要となるが…」など実践してみると難しい点がいろいろ出てくるという意見が出ました。児童は、教師がねらったようにはなかなか動いてくれないという話から、「道徳」の授業に話が及びました。

井口先生と浅野先生の半田中学校では、道徳の授業に力を入れており、同じ資料で複数のクラスが展開を変えて授業をしているそうです。道徳の授業でも「討論」を取り入れることがあり、その他に、心情を問う方法や問題解決型の授業で実践を重ねているそうです。道徳の授業となると、挙手での発言が少ない中、井口先生と浅野先生は補助発問を大切にしているということでした。

「話し合っ中で自分の考えを深めさせる」ことが大切であるのは、社会科でも道徳でも、また他の教科でも同じかもしれません。そのために、「何を、どうやって話し合うか？」「どうやったら、考えを深めることができるのか？」について、教師が明確なイメージをもち、きちんと計画していなければいけません。

そこで、今回は奥村和人先生をお招きして、「話し合い」について一緒に考えていただきたいと思います！

「第74回 知多社会科同好会 自主研修会」の開催について

- 日 時 平成27年10月16日(金) 19:00～21:00
- 会 場 半田市福祉文化会館（雁宿ホール） 第1・2学習室
- 講 師 東海市教育委員会
主任指導主事 奥村 和人 先生
- テーマ 「『話し合い』について考えてみる」

私たちは、「～について話し合う」とよく指導案などに書きますが、それはどんな活動でしょうか？その話し合いで、子どもたちはどんな学びをしているのでしょうか？またそれをどう評価していますか？

奥村先生のお話を基に、みんなで「話し合い」について考えてみましょう！！

今回は、テーマが「話し合い活動」なので、社会科を問わず、さまざまな教科で生かします！私の勤務する加木屋小学校の現職教育でお話を聞きましたが、「話し合い活動」の在り方が整理され、どのように内容を深めていき、どう評価すればよいのかがとてもよく分かりました！！みなさん一緒に学びましょう！

< F A X 送信状 >

第74回 知多社会科同好会 自主研修会 参加申込書

送信先

東海市立加木屋小学校 宮下 裕紀 FAX 0562-32-2208

へ送信してください。

第74回(10/16開催)

社会科自主研修会への参加を申し込みます。

お名前	
学校名	
連絡先 (電話番号) (メールアドレス)	※緊急の連絡に使わせていただく場合があります。学校電話番号・自宅(または携帯)電話番号・個人メールアドレスのいずれかをご記入ください。

同じ学校で参加される方

NO.	お名前	連絡先が異なる場合の連絡先
1		
2		
3		
4		
5		

■メールでお申込みくださっても結構です。アドレス→yemontarou38@yahoo.co.jp

■申込期限は、平成27年10月13日(火)です。